



~笑顔あふれる
育ちのひろば~
令和4(2022)年12月5日
社会福祉法人 見真会
明光保育園

朝晩の寒さが増し、木枯らしが吹いて冬の到来を体感する季節となりました。
今年こそは新型コロナの感染が終息するようお願いしましたが、師走(しわす)を迎える中で、再び感染の拡大が心配され、感染防止の徹底が求められています。
現在、園内では、新型コロナ感染者は認められませんが、乳児を中心に感染性の胃腸炎が散発し、12月2日(金)には保健所に実地確認と指導をお願いしました。指導では、園児の体調に十分配慮すること、嘔吐、下痢などの汚物による感染防止、きめ細かな手洗いなどの再徹底が求められました。

これからの季節は、胃腸炎に加えてインフルエンザの感染も広がりやすい季節となります。保育園は、多くの子どもたちが集団で生活しています。園内感染を防ぐため、各ご家庭では、ご家族の健康管理、手洗い・うがいの励行、予防接種、体調不良時のお子さんの登園自粛や早期の医療機関への受診などについて、ご理解とご協力をお願いします。

また、子どもたちは、保育園での日々の生活の中で大きく成長しています。保護者の方には、生活発表会(ごっこ)をとおして、一人ひとりの成長をご確認いただき、ともに喜び、健やかな成長に結び付けていければと考えています。

12月は、生活発表会にクリスマス会、誕生日会、お正月を迎える会と年末年始に向けて楽しい行事が続き、保護者会支援の体操・絵画のひろばや保育士による知育などの専門支援、ヴァイシュナビさんによる語学支援も充実していきます。

来る令和5(2023)年の干支(えと)はうさぎ(癸卯(みずのとう))です。これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。

子どもを主体として、成長に感じ、季節を感じ、伝統文化にも触れられるよう、それぞれの取組の意味や効果を考えながら、一日一日、一人ひとりを大切に保育を進め、一つ一つの「気付き」「思い」、「できた」「できる」を、職員全員で「喜び」「認める」ことを積み重ねながら、笑顔があふれる中、健やかで個性豊かな成長を支援していきます。

社会福祉法人 見真会
明光保育園
せいかつぱっぴょうかい
生活発表会

(幼児組:5,4,3歳児) (乳児組:2,1,0歳児)
日時:12月10日(土) 日時:12月13日(火)
時間:10:00~ 時間:10:00~
場所:織田幹雄スクエア 場所:保育園内
対象:白・青・黄組 対象:桃・赤・ひよこ組
観覧:1家族4人まで可能 観覧:不可(DVD貸出)

誰もが主役として、日々の生活や活動を表現する場としての、「子ども主体の生活発表会」を開催します。
派手さや、見栄えだけでなく、子どもたちの、ありのままの姿を応援してください。
特に、幼児クラスでは、子どもたちの意見や思いを尊重しチームワークを大切に練習してきました。

一七五三のお宮参りについて

11月15日(火)桃組(2歳児)と青組(5歳児)は、熊野神社にお宮参りに行きました。
手作りの袋に紅白の千歳飴を入れてもらって、拜殿で神様に2礼2拍手1礼して、宮司さんにお祓いをしてもらい、大きくなったことを感謝して、健やかな成長と長寿をお願いしました。
神社からお菓子ももらって、境内で落ち葉を拾ったり、鬼ごっこなどをしてたくさん遊び、みんな大満足で保育園に帰りました。



勤労感謝の日

日頃の感謝の気持ちを込めて、青組(4歳児)は石田商店を、白組(5歳児)は海田市駅前交番を訪れてプレゼントを渡し、パトカーにも乗りました。



年末交通事故防止!
県民総ぐるみ運動期間中です。

○期間:12月1日(木)~10日(土)
○重点・歩行者の安全な通行の確保
・高齢者運転の交通事故防止
・飲酒運転等の根絶
・自転車の安全利用の推進
※ 県自転車条例で自転車の点検整備・幼児のヘルメット、シートベルトの着用が努力義務化されました。

第74回人権週間について

いじめや児童虐待、インターネット上の人権侵害、国籍や障害等を理由とする偏見や差別など、様々な人権問題が存在しています。私たち一人ひとりが「誰か」のことではなく、自分のこととして、互いの人権を尊重することが大切です。
○期間:12月4日(日)~10日(土)
○人権デー:12月10日(土)
国連「世界人権宣言」採択日
※ 児童虐待は、子どもの心身に深い傷を与え、発育障害や認知能力の遅れを生じたり、世代間での連鎖などの問題が指摘されています。
「虐待と思ったら」189に通報(通話料無料)するか、保育園、町役場にご相談を!!!

年末年始の休園について
○期間:12月29日(木)~1月3日(火)
※1月4日(水)から通常の保育を行います。

日	月	火	水	木	金	土
12月の予定				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
休日保育 ※ご利用は町役場へ!	生活発表会 予行演習2 (白・青・黄組)		大雪 生活発表会 予行演習3 (白・青・黄組)	語学支援	生活発表会 予行演習1 (白・青・黄組)	生活発表会 (白・青・黄組)
11	12	13	14	15	16	17
休日保育		生活発表会 ごっこ (桃・赤・ひよこ組)	体操のひろば (青・黄組)	語学支援	絵画表現の ひろば(白組)	
18	19	20	21	22	23	24
休日保育	身体測定週間	体操のひろば (白・桃組)	避難訓練 (火災)	冬至 語学支援	誕生日会 クリスマス会	クリスマス イブ
25	26	27	28	29	30	31
クリスマス 休日保育	お正月を迎える会 大掃除			年末・年始 休園		大晦日 1月3日(火) まで休園です。

12月の園だより担当 保育士:石崎,倉留
栄養士:佐々木 編集:事務長 白木

電話 (082) 823-0366 FAX 823-0371
アドレス info@kenshin-meikou.jp

担任からのクラス紹介！

【ひよこ組 0歳児 9人】担任:森戸, 副担任:倉留

寒さに負けない体づくりを目指して、屋上に遊びに行くときは階段をなるべく自分で登るようになっています。屋上ではマットの山を登ってトンネルをくぐったり、体全体を使って遊んでいます。段ボールで保育室に作った段ボールハウスは、みんなのお気に入りです。低い入口をくぐって出入りしたり、窓から顔を出して「ばぁ」と声を出しては子ども同士や保育士と笑い合っていて遊んでいます。ミルクの空缶で作った太鼓を叩くのも好きで「どんぐり」や「まつぼっくり」などの季節の歌を保育士が歌うと、太鼓を叩いて音を出して喜んでいきます。

食事・あそび・睡眠のリズムも徐々に付いてきたので、子どもたち一人ひとりの思いを大切に受け止めながら、欲求を満たして信頼関係を深め、探索などへの意欲を育てていきます。

【青組 4歳児 18人】担任:細川

生活発表会では「ももたろう」を演じます。誰もがみんなと協力し、役になりきって、自分を表現し、劇を通じてクラスの一体感や達成感を満喫できるように取り組んでいます。劇中の歌の振り付けは、子どもたちがみんなで考え、演じます。

合奏では、ピアノの音や周りの楽器の音を聞きながら演奏できるように練習しています。演奏で歌いながら手を動かしたり、楽器ごとのソロ演奏もあるので期待して聴いてください。

練習でピアノや他の楽器を使ったり、運ぶ中で「ゆっくり運ぼうね」「下もって。僕、上持つね」など、楽器の大切さにみんなが気づき、理解して、行動することが身に付きました。

【赤組 1歳児 16人】担任:金井, 副担任:松本

園内で開催した運動会ごっこでは、幼児組のみんなに応援してもらって、緊張しながらも笑顔で鉄棒やマットなどに力いっぱい頑張りました。

お気に入りの手遊びや季節の歌が多くあって、発表会ごっこでは何を披露しようかと、子どもたちと話をしています。「どんぐり」「アンパンマンの手あそび」のリクエストが多く、保育士が歌を歌うと体を揺らしたり、歌に合わせて踊ったり、手作りしたマラカスを振って、リズムを取って楽しんでいます。遊びを通じて表現する楽しさを感じられるように支援していきます。食事や排せつも上手くなるように繰り返して支援していきます。



【黄組 3歳児 19人】担任:島崎

生活発表会では「はらぺこあおむし」の劇をします。

4月から大好きな「はらぺこあおむし」を中心に、あおむしが蝶になる歌や大型・立体・英語の絵本を取入れて音楽や言語支援を進めてきました。子どもたちは「あおむし」と「食べ物」に興味をもつようになり、果物のチームに分かれて大きな声で「まだまだお腹は、ペコペコ」とセリフを言うなど、体も使って表現する楽しさを感じています。

劇中では、黄組で取組んだルールのある集団遊び（かごめかごめ、なべなべそこぬけなどの伝承遊び）も演じます。

合奏では、初めて楽器に挑戦。楽器の正しい持ち方、音の出し方、強弱のつけ方などを知り、楽器の音色を出すこと、みんなと合わせて奏でることを楽しんでいます。発表会では色々な楽器を全員で奏でます。楽しみにしててください。



【桃組 2歳児 18人】担任:今田

七五三では、千歳飴の袋を作りました。ハサミを使い、紙を切ったり、のりで小さな紙を貼るなど、指先を使いながら、自分で作り上げました。作る喜びを感じたり、周りのみんなの作品を興味深く見たり、まねしたりできるようになりました。

11月15日(火)には、手作りの千歳飴袋を持って、熊野神社に参拝に行きました。お祓いを受け、みんなで健康を願いました。

生活面では自分で「できる」が少しずつ増えて自信につながっていますが、相手と「貸して」「いいよ」のやりとりが上手いかずケンカになって泣くこともあります。言葉遊びを通じて相手の思いに気づき、自分の思いを伝えられるよう支援していきます。

また、簡単なルールのある遊びを取り入れて、みんなでルールを守り、力を合わせて楽しむ経験を増やしていきます。

【白組 5歳児 19人】担任:本岡

生活発表会では、これまで取組んできた「はじめの一步」と「世界がひとつになるまで」を歌います。この歌は、友だちと手を取り合って、新しいことに一歩踏み出そうという元気があふれる曲になっています。

ピアノ演奏では「見上げてごらん空の星を」を幅広い音を使って奏でます。メロディーとハモリに分かれて、周りの音を聞きながら、毎日繰り返し練習してきました。

合奏は、運動会のマーチで演奏した「銀河鉄道999」です。演奏する楽器を増やしてダイナミックに演奏します。

本番では、笑顔で大舞台に立ち、みんなと協力しながら同じ目標に向かって取組み、最後までやり遂げた達成感や充実感を感じることができるよう支援していきます。

☆8分野の専門支援でチーム保育を推進☆

②創作・造形支援担当:奥崎 主任

勤労感謝の日に白組は駅前交番に、青組は石田商店に日ごろの感謝を込めて、プレゼントを贈ることにしました。子どもたちが主体的に発案から製作に取組み、形になっていく楽しさと贈る喜びを感じることができました。生活発表会の劇での小道具、来年の作品発表会への創作・造形活動でも子どもを主体に夢を形にしていく支援を進めます。

④⑧言語・安全支援担当:石崎 乳児主任

文化の日「いいとこメダル」でクラスのみんなの良いところを互いに伝える会を開きました。互いの良いところ、ステキなところを探し(気づき)伝え、知って自信が高まり、互いの絆を深めることにつながりました。また、自分の言葉で相手に伝える大切さを知る大きな経験ともなりました。

安全では11月16日(水)土砂災害を想定して乳児3組は桃組に垂直避難し、幼児3組は初めて避難場所の織田幹雄スクエアに避難しました。避難準備、園内移動、県道誘導、避難待機など貴重な経験となり、改善点も明らかになりました。

①知識能力(知育)支援担当:原田 園長代理

白組では時計を見て時間を意識して行動できるように時計の読み方の理解を進めています。時間の仕組みなどを知り、時間の大切さに気づき始めています。また、皆既月食に合わせて、組曲「惑星」のジュピター(木星)を聴き宇宙にも思いを広げました。これからも、子どもたちの興味や関心が広がるよう支援していきます。



⑤音楽表現担当:相原 リーダー

一人ひとりの上達支援から生活発表会に向けて、クラスのみんなが団結・調和して合唱や合奏を作り上げる支援に重点を置いています。「きれいな音に聞こえる!」など、調和した歌声や音色に気づき心が揺さぶられ、音楽を楽しんでいます。

子どもたちの誰もが心から音楽が「楽しい」「みんなとできて楽しい」という気持ちが広がるよう支援していきます。

⑦園芸・栽培支援担当:米田園長

毎朝、白・青・黄組の当番がプランターに水やりをします。「ムスカリの芽が出ている」「葉っぱが虫に食べられている」「白のはプロッコリー?カリフラワー?」など、日々の小さな発見や驚きを花や冬野菜の名前を言って保育士に教えてくれます。冬野菜の白菜、かぶは、12月末には収穫できそうで「給食でおいしく食べようね!」とみんなで楽しみにしています。

③運動機能支援担当:蒲生 幼児主任

個人の運動機能の向上に加えて、「みんなと協力」して、ルールを守り、遊び、喜び、楽しむことに取組んでいます。黄組は遊びのルールを知り守ることから始め、青組は遊びのルールを守り、みんなで変更したり、付け加えて遊びを広げました。白組は自分たちで新しい遊びを創作し、主体的に遊べるようになり、子ども同士の結束も強くなりました。遊びをとおして、自主性や社会性が育まれるよう、色々な遊びを提案・経験するよう支援していきます。

⑥食育・健康支援担当:酒井, 佐々木栄養士 今田 もも組担任

11月8日(いい歯の日)には、模型を使った「正しい歯の磨き方」昆布を食べて「固い食べ物をしっかり噛んで唾液(つば)を出すことで歯を守る」ことを学習しました。日ごろから、自分の体を守る大切さや、楽しい食事、栄養確保について分かり易く知り、身に付くよう支援していきます。